

## 2023 年度 事業報告

1. 2023 年度は、法人として下記 4 点の重点項目に取り組むこととした。
  - ① 組織基盤強化のため、規定類の整備などに取り組み、組織の枠組を整える。  
⇒まだ十分ではないが、2023 年度は規程類などの整備に取り組み、組織の枠組を整えられるように勤しんだ。
  - ② ネットワーク拡大のため、全国大会開催を含む積極的な普及啓発活動により、ACT 以外のアウトリーチチームの入会促進を行い、新規会員の獲得を目指す。  
⇒「アウトリーチの多様性を知る～いま地域に必要な支援とは～」をテーマに第 2 回全国大会 in 九州（2024 年 1 月 27 日～28 日：九州産業大学）を開催した。  
⇒各部会、各委員会の活動が活発になってきて、全国大会以外にも年 5 回の研修企画を打ち出すことができた。  
⇒年度末時点の会員数は、個人正会員 198 名【前年度比 11 名増】、チーム正会員 42 チーム【前年度比 1 チーム増】、法人正会員 5 法人【前年度比 1 法人増】、個人会員（賛助会員）93 名【前年度比 30 名増】、団体会員（団体賛助会員）5 団体【前年度比 1 団体増】であり、会員数は増加した。
  - ③ 財政基盤強化のためにも、新規会員の獲得に努め、会費収入による増収を目指す。  
⇒2023 年度の新規会員の獲得数は上記の通りであり、会員収入については微増に留まった。
  - ④ 不条理な差別や排除が制御された地域づくりを目指し、2024 年度の定時社員総会を目処に、人権・権利擁護ワーキンググループを中心にアウトリーチネットの「倫理綱領」を作成する。  
⇒「倫理綱領」の作成には至らなかったが、不条理な差別や排除が制御された地域づくりを目指し、人権・権利擁護ワーキンググループは日本弁護士連合会らとの大連帯会議に年 2 回参加した。また、第 2 回全国大会 in 九州において「会場みんなの対話『人権が尊重される地域・社会を目指して～アウトリーチへの期待～』」を実施した。
2. 委員会活動
  - ① 政策・研究委員会
    - (ア)「コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会個人正会員・団体正会員の基礎調査」および「医療保護入院およびハラスメントに関する実態調査」の実施。
      1. 現在会員となっている個人・団体会員の所属組織や、アウトリーチ支援の実態、当組織に求める実態などに関する調査を 2024 年 1 月に実施した。調査結果については 2024 年度の総会に向けて集約・報告する予定である。

(イ)「第2回ハラスメント研修」の実施

1. 2022・2023年度に実施されたハラスメント研修の継続企画として、第3回ハラスメント研修を2024年1月27日の九州大会で実施した。ロールプレイなどを含んだ研修への参加者は20名強となった。

(ウ)文科研「多職種アウトリーチ\_長期コホート研究」への協力

1. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の地域精神保健・法制度研究部 山口創生先生の文科研「多職種アウトリーチ\_長期コホート研究」が2023年9月2日の研修会を皮切りに開始された。

⑤ 広報委員会

(ア)委員会規定の作成（進行中）

(イ)委員会の開催

(ウ)SNSの更新

(エ)会員増加に向けての広報先・広報内容の検討

(オ)第2回全国大会（九州大会）実行委員会への参加

(カ)Newsletterの作成（発行に向けて準備中）

③ 研修委員会

(ア)地域づくり部会との共同企画研修「ケアと地域づくりとしてのヒューマンライブラリー～誰もがつながり合う一つの手がかり～」を開催した。

1. 日時：2023年8月19日 14:00～16:30
2. 形式：オンラインライブ配信、後日オンデマンド配信
3. 講師：栄セツコ（桃山学院大学）
4. 実践報告：本間貴宣（一般社団法人しん）、ユタカさん（当事者）、かわちゃん（当事者）

(イ)訪問支援・訪問看護部会との共同企画研修「精神科ほうもんかんごとは何か？～当事者・家族・地域・病院と私たち～」を開催した。

1. 日時：2023年9月30日 13:00～16:00
2. 形式：オンラインライブ配信、後日オンデマンド配信
1. 登壇者：大迫晋（ネクステップ訪問看護ステーション）、菊地嘉通（訪問看護ステーション・スクラム）、木村潔（地域精神保健福祉を学ぶ市民の会）、野々上武司（こころの訪問看護ステーション）、村尾眞治（株式会社ラポート）、米良重人（横浜市今宿西地域ケアプラザ 地域包括支援センター）、山田悠平（精神障害当事者会ポルケ）
3. ファシリテーター：増子徳幸（訪問看護ステーションWing）

(ウ)研修委員会企画「若者世代のメンタルヘルスとアウトリーチ」を開催した。

1. 日時：2023年10月8日 13:30～17:00
2. 形式：オンラインライブ配信、後日オンデマンド配信
3. 講演：「様々な困難を抱える若者層に求められる支援や関わり」  
講師：朝比奈ミカ（市川市生活サポートセンターそら）

4. 実践報告：「若者世代の声をいかにキャッチし関わるか」

① 「子ども・若者に対する早期相談・支援窓口」

報告者：内野敬（あだち若者サポートテラス SODA・東邦大学医学部  
社会実装精神医学講座）

② 「福祉の届かない子ども・若者へのアウトリーチ」

報告者：荒井和樹（全国こども福祉センター・中京学院大学）

3. 部会活動

① 訪問支援・訪問看護部会

(イ)部会コアメンバーの募集、強化

(ウ)以下のコアメンバーとミーティングを開催した。

1. 大迫晋（ネクステップ訪問看護ステーション）、菊地嘉通（訪問看護ステーション・スクラム）、木村潔（地域精神保健福祉を学ぶ市民の会）、野々上武司（こころの訪問看護ステーション）、増子徳幸（訪問看護ステーション Wing）、村尾眞治（株式会社レポート）、米良重人（横浜市今宿西地域ケアプラザ 地域包括支援センター）、山田悠平（精神障害当事者会ポルケ）

(エ)実施ミーティング（会議）

1. 2023年5月20日 オンライン（ZOOM）
2. 2023年6月13日 オンライン（ZOOM）
3. 2023年7月11日 オンライン（ZOOM）
4. 2023年7月29日 対面での研修会場下見（東京都大田区入新井集会室）
5. 2023年9月13日 研修登壇者のみ mtg オンライン（ZOOM）
6. 2023年9月25日 研修前最終 mtg オンライン（ZOOM）
7. 2023年11月7日 研修振り返りオンライン（ZOOM）
8. 2024年2月16日 「ご意見会」オンライン（ZOOM）

※精神科訪問支援、精神科訪問看護における大切な視点、支援の組み立ての上で注意すること、地域連携のコツや醍醐味について学んだ。

(オ)部会主催（研修委員会と共同企画）での研修会を開催した

1. 研修名：「精神科ほうもんかんごとは何か？～当事者・家族・地域・病院と私たち～」
2. 日時：2023年9月30日 13:00～16:00
3. 会場：オンラインライブ配信

(カ)第2回全国大会での部会企画分科会を開催した

1. 分科会：訪問支援・訪問看護部会企画「アウトリーチからの卒業・自律について～みんなの声を重ねてダイアログしよう～」
2. 日時：2024年1月27日 15:30～17:30
3. 会場：九州産業大学

(キ)2024年度以降の方向性について協議

1. 特に2024年2月の「ご意見会」から、2024年度以降の部会の在り方・方向性について協議した。

② 訪問医療部会（病院型・診療所型）

(ア)部会の組織化担当理事の交代の段取り

1. 西尾雅明から植田俊幸へ（2024年総会で承認を募る予定）

(イ)第2回全国大会での訪問医療部会の開催（事例検討会）

(ウ)2023年12月に「お顔合わせミーティング」で事例検討会

(エ)2023年6月17日、9月10日、訪問医療部会ミーティングの開催(会員との交流と並行して、コアメンバーと部会のミッションを検討)

(オ)訪問医療部会の立ち上げ相談(新規で始めようとされる診療所、病院に対してコアメンバーを中心に会員をサポート；竹田綜合病院、新規クリニックの相談や見学対応)

(カ)2024年度精神神経学会の訪問診療のシンポジウム採択(植田俊幸、岡崎公彦コーディネート)

③ 子ども・若者支援部会

(ア)部会規定の作成

(イ)部会の組織化

④ 地域づくり部会

(ア)部会コアメンバーの募集、強化

(イ)以下のコアメンバーとミーティングを開催した。

1. 金井浩一（一般社団法人ライフラボ 相談支援事業所しぼふぁーれ）、高山京子（特定非営利活動法人びすた〜り）、田淵誠（株式会社inC）、中野千世（地域活動支援センター櫻）、本間貴宣（一般社団法人しん）

(ウ)実施ミーティング／会議

1. 2023年4月29日 対面会議（大阪保健福祉専門学校）
2. 2023年5月19日 オンライン(ZOOM)
3. 2023年6月28日 オンライン(ZOOM)
4. 2023年7月21日 オンライン(ZOOM)
5. 2023年8月9日 オンライン(ZOOM)
6. 2023年12月11日 オンライン(ZOOM)
7. 2024年3月11日 オンライン(ZOOM)

※コミュニティへのアウトリーチ、リカバリー支援における横断的モデル作りに向けての検証を行った。

(エ)部会主催（研修委員会と共同企画）での研修会を開催した。

1. 研修名：「ケアと地域づくりとしてのヒューマンライブラリー～誰もがつながり合う一つの手がかり～」
2. 日時：2023年8月19日 14:00～16:30

3. 会場：オンラインライブ配信

(オ)第2回全国大会での部会企画分科会を開催した。

1. 分科会：地域づくり部会企画「居住支援と地域づくり」

2. 日時：2024年1月28日 9:00～11:00

3. 会場：九州産業大学

(カ)他の部会、委員会との連携事業

1. 部会企画の研修、分科会ならびに全7回の部会コアメンバーミーティングにおいて、部会として取り組むべき課題についての検討を重ねた。

2. 他部会、委員会とは2023年8月19日に研修委員会と共同企画での研修会を開催した。

## ⑤ ACT 部会

(ア)ACT 部会組織化

1. コアメンバー追加

(イ)コアメンバー会議

1. 対面：2023年6月3日開催

2. オンライン：月一回開催

(ウ)コアメンバー

1. 浦林翼(おでかけクリニック)、香取牧子(ACT-Aile)、片岡大貴(Q-ACT 北九州)、五ノ坪洋平(ACT-K)、白石泰三(Q-ACT やはた)、鷹子剛(Q-ACT 福岡)、富沢明美(ACT-Port)、横田季子(ACT-K)、吉田光爾(東洋大学)

(エ)フィデリティレビュー

1. フィデリティレビュー検討会；2023年12月10日オンラインにて開催

2. フィデリティ内容追加あり(ステップダウン、一般就労者数、クライシスプラン作成について)

3. 希望チームにより実施(PORT、Q-ACT 福岡、Q-ACT くるめ)

(オ)研修企画・開催

1. リーダー研修開催

2. 中堅研修開催

3. 新人研修開催

(カ)オンラインにて月一回チームミーティング実施

(キ)交流機会の創出

1. オンライングループスーパービジョン開催

(ク)立ち上げ支援事業

(ケ)認証制度企画

(コ)他部会・委員会協力

1. 今年度実施なし

#### 4. 法人運営

##### ① 第2回全国大会 in 九州の開催

(ア)会期：2024年1月27日～28日

(イ)会場：九州産業大学

(ウ)大会テーマ：「アウトリーチの多様性を知る～いま地域で必要な支援とは～」

(エ)大会長：渡邊真里子、副大会長：谷口仁史、実行委員長：須田竜太

##### 1. 九州大会シンポジウム「アウトリーチの多様性を知る」

シンポジスト：奥田知志（生活困窮者自立支援全国ネットワーク）

中園明子（笹貫訪問看護ステーション愛の街）

矢野茂生（おおいた子ども支援ネット）

吉野智（PwCコンサルティング合同会社）

指定討論：名雪和美（厚生労働省 障害保健課相談支援専門家）

##### 2. 基調講演「社会保障改革の展望と地域共生社会の実現」

演者：鈴木俊彦（元厚生労働事務次官、日本赤十字社副社長、  
生活困窮者自立支援全国ネットワーク顧問）

##### 3. 経験者に聞く「地域で求められるアウトリーチとは」

登壇者：精神障害者アウトリーチ支援ユーザー

生活困窮者アウトリーチ支援ユーザー

家族

司会進行：安保寛明（山形県立保健医療大学）

山口創生（国立精神・神経医療研究センター）

##### 4. 会場みんなの対話「人権が尊重される地域・社会を目指して」

話題提供：八尋光秀（日本弁護士連合会 精神障害のある人の強制入院廃止  
及び尊厳確立実現本部）

登壇者：岡崎公彦、金井浩一、須田竜太、谷口仁史、増子徳幸、梁田英麿、  
山口亮（人権・権利擁護ワーキンググループ メンバー）

司会進行：矢原隆行（熊本大学）

##### 5. その他の分科会、

##### ② 定時社員総会の開催

(ア)日時：2023年6月10日 10:00～11:00

(イ)会場：東洋大学赤羽台キャンパス

(オ)内容：2022年度事業報告

役員辞任の報告

2022年度計算書類の承認

2023年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）の承認

##### ③ 理事会の開催

(ア)2023年4月17日 オンライン(ZOOM)

(イ)2023年5月16日 オンライン(ZOOM)

- (ウ)2023年6月10日～11日 対面(東洋大学赤羽台キャンパス)
- (エ)2023年7月18日 オンライン(ZOOM)
- (オ)2023年8月21日 オンライン(ZOOM)
- (カ)2023年9月19日 オンライン(ZOOM)
- (キ)2023年10月16日 オンライン(ZOOM)
- (ク)2023年11月21日 オンライン(ZOOM)
- (ケ)2023年12月18日 オンライン(ZOOM)
- (コ)2024年1月16日 オンライン(ZOOM)
- (サ)2024年1月28日 対面(九州産業大学)
- (シ)2024年2月25日 対面(東洋大学赤羽台キャンパス)
- (ス)2024年3月19日 オンライン(ZOOM)
- ④ 共同代表会議
  - (ア)2023年5月1日 オンライン(ZOOM)
  - (イ)2023年7月13日 オンライン(ZOOM)
  - (ウ)2023年10月28日 対面(岡崎クリニック)
  - (エ)2024年2月1日 オンライン(ZOOM)
- ⑤ 人権・権利擁護ワーキンググループ：日弁連「大連帯会議」への参加
  - (ア)2023年4月2日 対面(国立オリンピック記念青少年総合センター)
  - (イ)2023年9月3日 対面(東洋大学赤羽台キャンパス)
- ⑥ 各部会や各委員会の意見の取りまとめや調整
- ⑦ 委員会および部会の開催
- ⑧ 事務局業務(委託含む)
  - (ア)会員の入退会に伴う業務
  - (イ)会費の請求業務
  - (ウ)設立総会の開催に伴う業務
  - (エ)経理業務
  - (オ)法人税等の税務関連業務
  - (カ)現預金等の日常の管理業務
  - (キ)会員や外部関係機関などからの相談対応業務

## 2023 年度 計算書類

### 貸借対照表

2024 年 3 月 31 日

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	2,019,839
未収会費	1,558,000
未収入金	5,181,552
仮払金	0
流動資産合計	8,759,391
2. 固定資産	
ソフトウェア	517,327
固定資産合計	517,327
資産合計	9,276,718
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	4,610,486
前受金	166,000
仮受金	90,000
預り金	89,931
流動負債合計	4,956,417
2. 固定負債	
長期未払金	812,700
固定負債合計	812,700
負債合計	5,769,117
III 正味財産の部	
一般正味財産	3,507,601
正味財産合計	3,507,601
負債及び正味財産合計	9,276,718



2023 年度正味財産増減計算書  
2023 年 4 月 1 日 から 2024 年 3 月 31 日 まで

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
経常収益	
1. 受取会費	
個人正会員	834,000
チーム正会員受取会費	1,290,000
法人正会員受取会費	110,000
個人賛助会員受取会費	214,000
団体賛助会員受取会費	50,000
受取会費計	2,498,000
2. 事業収益	
部会活動収益	373,412
委員会活動収益	241,000
セレモニー参加費等収益	4,138,404
事業収益計	4,752,816
3. 受取寄付金	
受取寄付金	1,147,000
4. 雑収益	
受取利息	8
雑収益	431
経常収益計	8,398,255
経常費用	
1. 事業費	
旅費交通費	1,734,753
通信運搬費	779,140
消耗品費	2,957
印刷製本費	171,222
賃借料	69,483
諸謝金	1,698,409
支払寄付金	570,000
委託費	670,482
会議費	0
郵送費	84,492
雑費	1,058,972
事業費計	6,839,910
2. 管理費	0
会議費	0
交際費	0
旅費交通費	898,498
通信運搬費	26,594
減価償却費	248,316
消耗品費	0
印刷製本費	137,919
諸謝金	0
租税公課	0
郵送費	12,585
委託費	264,000
HP 維持費	105,600
雑費	56,638
管理費計	1,750,150
経常費用計	8,590,060
評価損益等調整前当期経常増減額	-191,805
当期経常増減額	-191,805
経常外収益	0
経常外費用	0
税引前当期一般正味財産増減額	-191,805
当期一般正味財産増減額	-191,805
一般正味財産期首残高	3,699,406
一般正味財産期末残高	3,507,601
II 指定正味財産増減の部	0
III 基金増減の部	0
IV 正味財産期末残高	3,507,601

# 監査報告書

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会の2023年度における事業及び会計の監査について以下の通り報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会及びその他の重要な会議に出席し、必要に応じて理事からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。それらを踏まえ、当該事業年度に係る事業及び会計について検討しました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査の結果

事業報告は法令、定款に従い正しく示しているものと認めます。

各理事の職務執行に関する不正行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類の監査の結果

計算書類は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

2024年4月15日

監事 山口 亮

